

遺跡発表1. 本埜村

りゅうすいじょうら 瀧水寺裏遺跡

— 石器に秘められた環の礎 —

嘱託職員 宇井義典

遺跡と周辺環境

瀧水寺裏遺跡は本埜村滝字宮前1006-25他、標高約29mに位置する。印旛沼により開析された台地上にあり、眼下には沖積平野が広がる。台地の先端部に立地し、恵まれた環境下にあったと考えられる。

下総台地と呼ばれるこの台地は、下総上位面という面に当たり、下末吉ローム（13万年～12万年前）から順次堆積していったことが明らかとなっている。後期旧石器時代は立川ローム層中より出土したものを指す。また、この遺跡が営まれた時期は約2.8万年～2.7万年前で、第二黒色帯下部と呼ばれる所である。

調査成果

平成12年度、13年度の2ヵ年にわたる下層本調査をおこなった結果、2基の環状ブロック群を検出した（第1図）。調査区の両端にそれぞれ位置するため北側、南側と称してゆく。出土した石器は合計609点であり、北側は42点、南側は約450点からなる。両方とも直径約20mであるが、石器分布の密度においては大きな差異がある。この時代の特徴的な石器（第4図、台形様石器、局部磨製石斧）は両方で確認されているが、南側については石斧の石材と類似する片が多く出土しているため石斧の製作に関する地点と考えられる。両地点あるいはその間に分布するブロックの石器組成の差異は、生活や行動内容の違いを反映している。遺跡全体の石器を見ることでその性格が明らかになると思われる。

環状ブロック群の現在と今後の展開

後期旧石器時代前葉の段階で石器のブロックが環状を呈することが分かってきたのは80年代の後半からである。それ以来、このような形態の遺跡を解明するため、今まで培ってきた研究方法を駆使し研究が為されてきた。時代の流れとともに事例が増加し、大まかな様相は掴めるようになってきた。だが現在では内容に進展が見られないのが事実である。

武蔵野台地という立川ローム区層段階で多くが検出されているが、本来この段階に特徴的に出現する

ものなのかということから始める必要がある。規格性の高い形態が突然出現するするには大いに抵抗がある。人類史、環境適応などを考慮すると必ずや初源形態が存在し、そこから発展してきたものと考えられる。また、事例が増加したといえども後期旧石器時代前葉の社会の中で営まれた遺跡であり、環状ブロック群単独で理解できることなどそれほど多くなはない。むしろ地域社会や地理的環境の中での位置づけを考えることが必要となる。遺跡には環状を呈するものと呈さないものが存在し、その両者の関係がいかなるものなのかということもみてゆかねばならない。

環状ブロック群は複数のブロックが環状に巡るものを指し、所謂大形遺跡の部類に含まれる。単位集団が複数集合することにより形成され、両者の関係は離合集散の関係があると考えられている。今現在環状ブロック群が形成される要因として、大形獣狩猟に関係するとされている。石器組成や立地状況を考慮すると必ずしも大形獣狩猟に終始するとは考えられない。石器という残された物質文化の表現形態を捉えているため、表面的な理解に留まっているとしか思えない。この遺跡を理解するためには機能的理解と社会的理解の両方が必要となってくる。

ヒトが生活を営むとき諸処の事象が十分に把握できるテリトリー内を遊動していたと考えられる。その範囲内が地域というもので括られてくる。しかし、常に地域のなかで生活を送っていた訳ではなく、外の世界にも出てゆかねばならないこともあった。単位集団という少数で生活していただけではなく、他集団との接点もあった。互いの集団を認識し合い、厳しい環境の中を生き抜いてきたのである。繋がりがあがることで、石器、石材、食料、情報などが行き来するのである。ブロック間で共有する石材や搬入される製品が社会における関係を表している。

環状ブロック群とは互いの単位集団を認識しやすくするため、ブロックが環を呈するようになっていのではないだろうか。

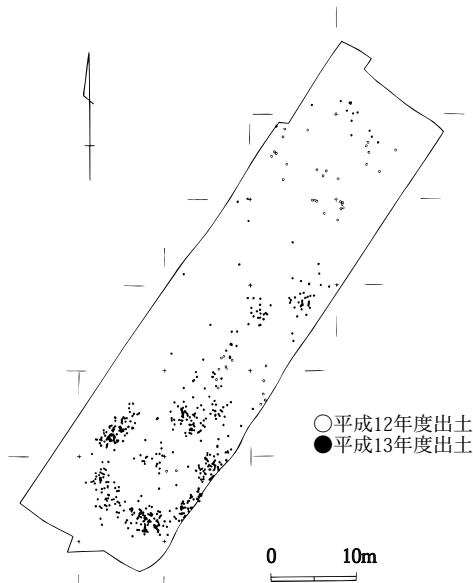
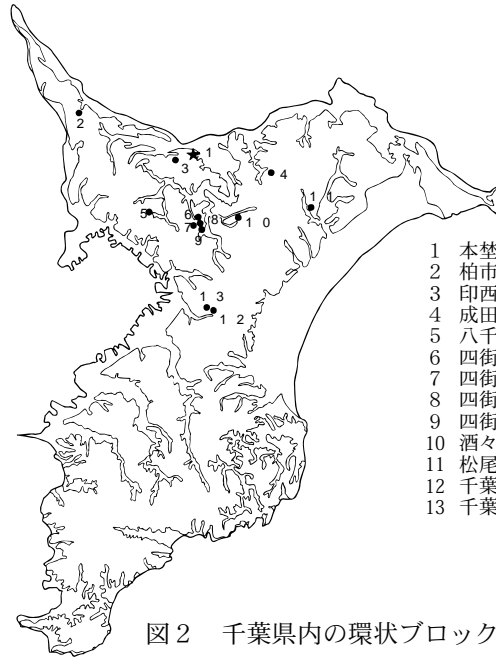


図1 瀧水寺裏遺跡石器分布図



- 1 本埜村瀧水寺裏遺跡
- 2 柏市中山新田1遺跡
- 3 印西市泉北側第3遺跡
- 4 成田市東峰御幸畑西遺跡
- 5 八千代市坊山遺跡
- 6 四街道市池花南遺跡
- 7 四街道市出口・鐘塚遺跡
- 8 四街道市御山遺跡
- 9 四街道市小屋ノ内遺跡
- 10 酒々井町墨古沢遺跡
- 11 松尾町・横芝町四ツ塚遺跡
- 12 千葉市東大野第2遺跡
- 13 千葉市西大野第1遺跡

図2 千葉県内の環状ブロック群

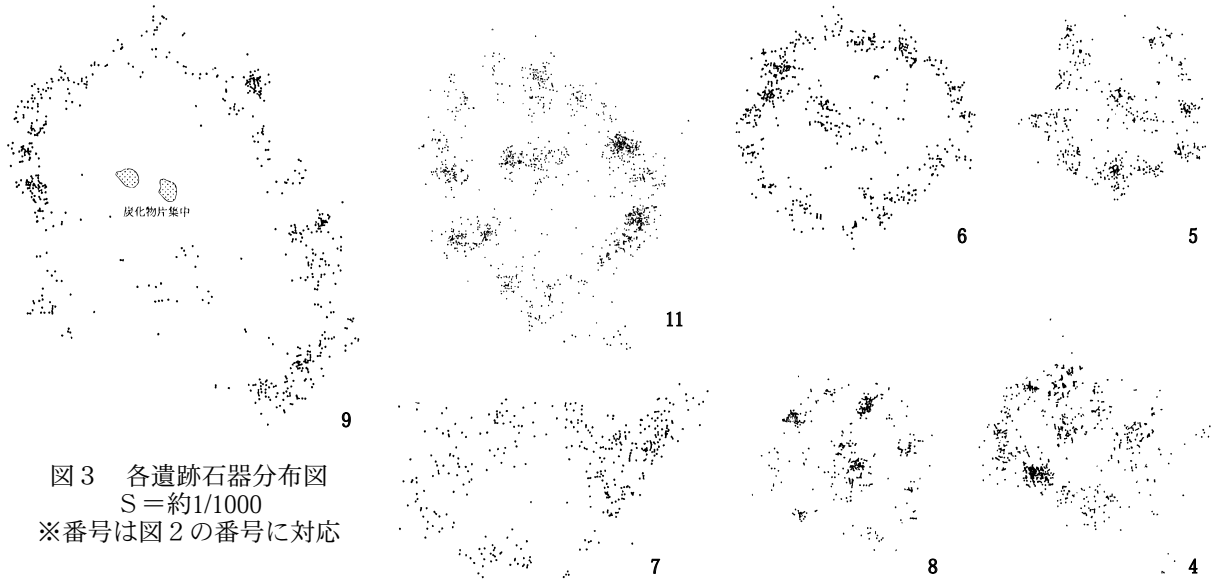


図3 各遺跡石器分布図
S = 約1/1000
※番号は図2の番号に対応

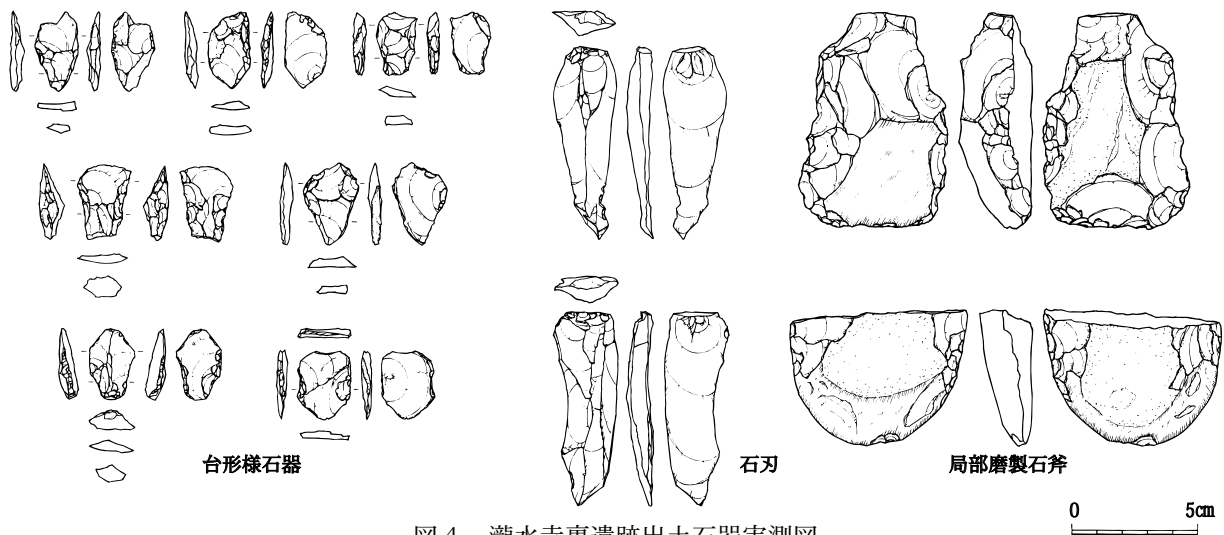


図4 瀧水寺裏遺跡出土石器実測図